種子島産婦人科医院　ボランティアグループ

あい♥愛通信　No. 1

種子島産婦人科医院が移設・リニューアルオープン

おめでとうございます

お産の状況（総数）15
2016年4月~~24~~人
5月20人
6月19人
7月~~26~~13人

里帰り出産件数
4月（3?人）
5月（4~~5~~人）
6月（10人）
7月（4人）

新しい施設の紹介

平成28年5月1日オープンした新しい種子島産婦人科医院は下西校区・塩泊地区（国の合同庁舎の真向かい）に位置し、国道58号線に近く、これまで比べ、中種子町や南種子町から便利になりました。

新しい病院は、木造平屋の温かい雰囲気です。手術室、処置室がこれまで以上に広くなり、全室が個室。診療棟と個室病棟の2つのゾーンに2つの中庭。病院内部から空が見え、たっぷりの自然光が明るい、すてきな病院になりました。

♥♥ 住吉先生に代わり、これからは、昨年7月赴任された**前田宗久先生（36歳）が中心となり7名の助産師と10名看護師のみなさんが、**鹿大病院や種子島医療センターなどからのこれまで以上の支援を得て、**病院を運営していきます。**（詳しくは次号でお知らせします）

住吉稔先生が7月末で退任
勤務8年間に深く感謝

住吉先生は、閉院した池田産婦人科医院を引き継ぎ、平成20年[redacted]に種子島で唯一の産婦人科医として着任されました。先生は昭和51年に全国初の5つ子誕生の担当医だった方。平成20年正月、種子島の公立病院開業日の出産から始まり、設立当初の混乱や鹿児島市に緊急搬送するなどの離島医療の難しさに立ち向かわれ、これまで大変ご苦労されました。

これまでに誕生した赤ちゃんは1,954人です。住吉先生のおかげで、種子島でお産できない日は今日まで一日もありませんでした。

誰にでも声をかける気さくな先生。退任後は鹿児島市内で暮らしています。

ボランティアグループあい・愛は、種子島産婦人科医院を応援します。種子島で安心して出産できる環境や、女性の健康を守る種子島産婦人科医院が今後も継続していけるよう、お手伝いします。

7月の七夕飾り
折り紙で折った星に紙リボンを付けました。

ボランティアグループ
あい♥愛 活動紹介

月ごとに、季節感を出した折り紙やイラストカードを作り、温かくリラックスできる病室の雰囲気づくりと、また「おもてなし」の気持ちを表現しています。

★6月　ユリの花とアジサイ

★7月　七夕

★8月　ゆかたとウチワ

★協力された方のご紹介

西之表市伊関在住の古田さん。

子犬の手作りぬいぐるみで安産祈願

★協力された方のご紹介

西之表市在住のしずのばあちゃん。

島でお産できる環境を守るためにと、ご寄付をいただきました。今後の活動に役立てます。

ボランティアグループ「あい♥愛」会則の抜粋

第1条　本会は病院ボランティアグループ「あい♥愛」と称する。
第2条　本会は、ボランティア登録者並びに次に掲げる会の目的に賛同する女性有志によって組織し、事務局を種子島産婦人科医院内に置く。
第4条　本会は前条の目的を達成するため、以下の事業を行う。
(1)　種子島産婦人科医院との連携・協議(定例会の開催)
(2)　種子島産婦人科医院の心安らぐ環境をつくる。
(3)　関係機関・団体等との連携
(4)　その他、目的達成のために必要な諸活動

2016年6月発足。 役員体制

顧問　：　種子島産婦人科　院長
代表　：　長野広美(西之表市)
副代表：　戸田和代(中種子町)
会計　：　橋口美幸(西之表市)
幹事　：　名越多喜子(南種子町)
　　平川久美子(西之表市)

よろしくお願いします。

ボランティアグループあい♥愛　みなさまの協力をお願いします。

私たちは、池田産婦人科医院が閉院する事に大変驚きました。そして種子島でお産できる環境を守るためには、お産する人だけではなく、島民みんなが一緒に協力することが大切だと痛切に感じました。また、婦人科があることは、島の女性の健康を守ることです。**ボランティアグループあい♡愛**は種子島産婦人科医院を応援する女性有志のグループです。みなさんの参加やご支援をお願いします。

賛助会員募集中。年会費1,000円で、ニュースレターをお届けします。

問い合わせ先：　西之表市・長野広美　(携帯　090-3109-4488)
　　中種子町・戸田和代　(携帯　090-5737-1176)
　　南種子町・名越多喜子　(携帯　090-5289-8786)